

令和6年 10月10日

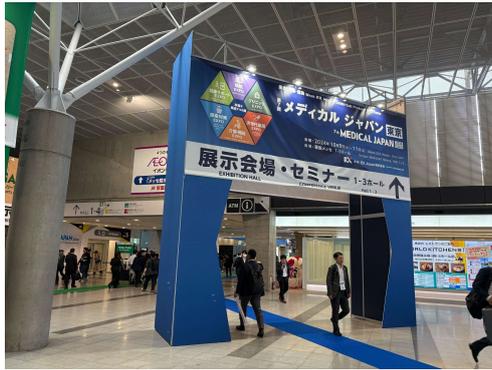
松阪市議会議員 中島清晴 様

視察報告書

下記の内容で視察いたしましたので、報告いたします。

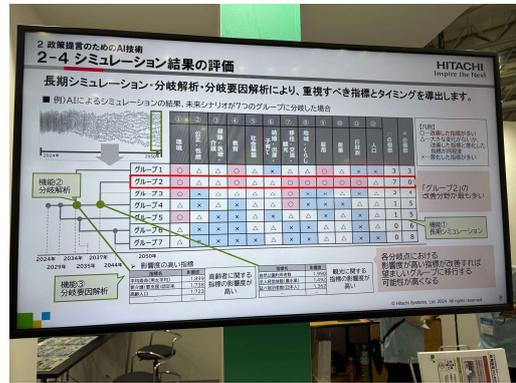
日時:	令和6年 10月 9日(水曜日) 11:00 ~ 16:30 令和6年 10月 10日(木曜日) 10:30 ~ 15:00
会場:	幕張メッセ 千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目
テーマ:	9日 メディカルジャパン東京 10日 地方自治情報化推進フェア2024
参加者:	蒼水会 深田龍
目的:	福祉医療と自治体 DX の最先端技術を学び、出展されている企業の方々との情報交換のために視察した。
視察内容 と所感:	<p>【9日メディカルジャパン】</p> <p>福祉医療の現場にも生成 AI を活用した技術やツールが出てきていた。以前から言われているもの、例えば、症状から病気を推察するツールが実用化の目途が見えてきている。生成 AI を言語で学ばせる技術だけでなく、画像や動画でも学べるもの(ファウンデーションモデル)がすでに主流になり始めていて、言語以上に画像や動画の情報量は多いため、AI が学ぶ速度も各段に上がっていくことになりそうだ。</p> <p>また、訪問看護は急激にここ2~3年で全国に広がり、1万7,000以上の事業所にまで増えたが、一方で倒産する事業所も増えてきているという。その背景には、看護師人材の不足や固定費の増加、そして24時間体制を続けることによるスタッフの疲弊があるという。松阪市でも同じ現象が起きていないか不安を感じた。</p> <p>【10日地方自治情報化推進フェア】</p> <p>数年前に言葉だけが踊っていた EBPM に関する展示ブースが目についた。いくつかの自治体で国の制度を活用し先駆的な取り組みを始めているところがあった。宇都宮市は政策形成過程に日立が作ったシステムでビッグデータを活用し、政策提言まで行った実例がある話を聞いた。</p> <p>デジタル田園都市構想の補助金を活用したメタバースによる自治体プロモーションであったり、滞納者への対応における生成 AI を活用した業務効率アップのシステムだったり、多岐にわたる DX ツールが展示されていた。</p> <p>以前から DX を推進する大きな目的のひとつに、業務改善・作業効率アップを掲げ当市も漏れなくその言葉を掲げて DX を推進しているが、本当にそうになっているのか検証が進められていない課題がある。その状況をメーカーに聞きまわったが、今もなお検証をできている自治体は少ないようである。DX は確かに必要なことだが、どういう DX が良い成果を出しているのか、その見極めは冷静且つ大切にしたい。</p>
現場風景:	

9日メディカルジャパンの風景



千葉県が県内企業をまとめて出展していた

10日自治情報化推進2024の風景



EBPM の事例

以上